

中幸町4丁目町内会 事例紹介

デジタル化のヒント

区域

川崎市幸区中幸町4丁目

加入世帯

約630世帯

問合せ

幸区役所地域振興課 044-556-6609

興味がある方は
下記2次元コードから
ご覧ください

中幸町4丁目
電子掲示板



実際に作成した電子掲示板

中幸町4丁目町内会の活動事例

デジタル化 のヒントに「デジタル化を進めたい」

役員の担い手不足や役員の負担増が進む中で、これからも町内会・自治会の運営を維持していくためには、デジタル化は必要不可欠。

中幸町4丁目町内会では、全ての会員に対して情報を共有することや町内会に興味がない、あるいは活動を知らない方にきちんと活動内容を伝えることが大事であると考え、幅広い世代へ情報を伝えるための手段として、紙の掲示板と併用して、スマホで見ることが可能な電子掲示板を令和6年に作成しました。

町内会のイベントや行政からの情報、町内会のトピック等情報発信の手段とするだけでなく、町内会を紹介する名刺に電子掲示板の2次元コードを貼付することで、加入案内の際に活用を図っています。

電子掲示板
実際の画面



デジタルの情報発信ってどんなメリットが？

いかにしてデジタル化を行い、負担軽減を図るかがこれからの町内会の運営にあたって避けて通れないテーマ

普段使い慣れているスマートフォンから閲覧できる電子掲示板を独自で考案

2次元コードを読み込むだけ

知りたい情報をコンパクトに伝える「電子掲示板」

背景

- 定例会における印刷費の問題
- 全会員へ瞬時に情報を伝えることができる手段の必要性
- 未加入者の無関心

取組

- 町内会独自の電子掲示板を作成
- 情報発信・情報共有・加入促進活動等に活用

アナログの掲示板を見る人は年々減少？電子掲示板による情報発信へ

まずは活動を知ってもらうことから始めよう。スマホによるデジタルの情報発信で見やすく、そしてコンパクトに

01

「電子掲示板」

情報を気軽に

電子掲示板はアプリではないため、ダウンロードをする必要もない。ホームページ等インターネットで「町内会名」を検索することや個人情報の入力、誰かと繋がる必要もないので気軽に閲覧可能。

スマートフォンに搭載されている2次元コードリーダーで自発的にいつでも見たい時に読み込むだけ。

スマホの動作に合わせた仕様に

全世代に普及しているスマートフォンの動作に準ずる仕様にすることで、誰でも見やすく閲覧が可能に。

閲覧マニュアルがなくても、何となく「この情報はこの項目を選択すれば入っている」とわかりやすい画面設定となっている。

情報をコンパクトに

自分の知りたい情報を町内会のホームページで検索するとなかなか探し出せないことも。この電子掲示板は自分の知りたい情報にたどり着くまで、「ワンプッシュ」。町内会に関連する情報をコンパクトにまとめることで、知りたい情報には最短で。

02

「活用方法」

デジタルによる情報発信

町内会に対する無関心が問題になっている中、「まずは活動内容を知ってもらうこと」が大事と考える中幸町4丁目町内会。イベント情報や定例会の議事録、町内会のトピックの項目等作成し、随時情報発信。若い世代の方も含めて、とにかくみんなに知ってもらうこと。知る権利はみんなにある。

加入促進活動

アナログの掲示板や集合住宅の掲示板などに、電子掲示板の貼紙を掲示してもらい、まずは町内会の活動をアピール。更に名刺から電子掲示板を閲覧できるようにすることで、入会案内の際に住民へ配布するツールとしても活用。

情報を知るための掲示板

個人的な意見を掲載する仕組みは誹謗中傷等を防ぐため未搭載。あくまでも情報を知るための機能に特化。

また、役員の氏名や住所といった個人情報は載せないこと。活動に不必要な情報は掲載することなく情報発信を行っていく。

03

「今後の展望」

電子化の推進

電子掲示板を作成し、電子化の取組を推進しているが、出欠確認の電子化やオンライン会議等町内会全体に電子化が浸透するにはまだ時間がかかると考えている中幸町4丁目町内会。

それでも加入率が低下している中、新たに町内会の独自情報やスポンサー機能の追加といった電子掲示板の活用を検討するなど、これからも様々な意見を参考にしながら、会員一丸となって電子化の取組を推進していく。

名刺版電子掲示板の活用

